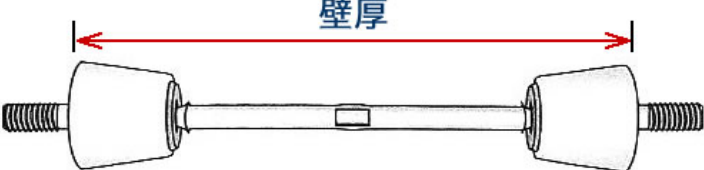
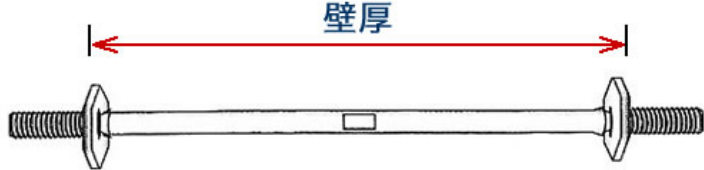
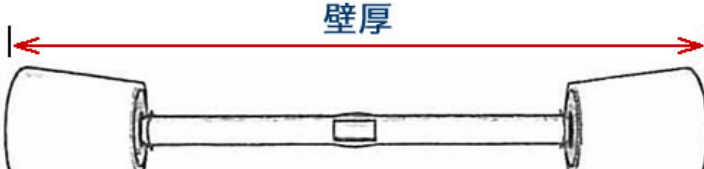
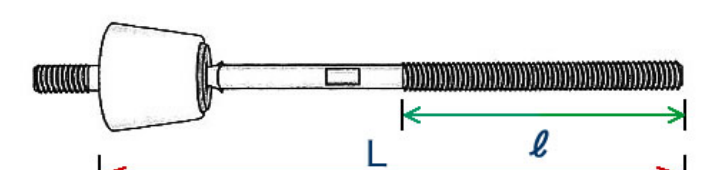
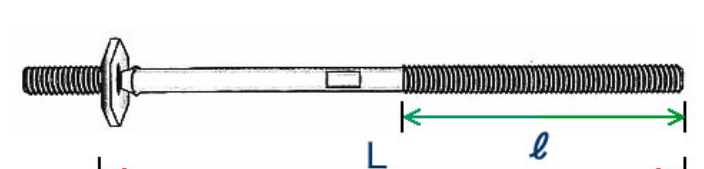
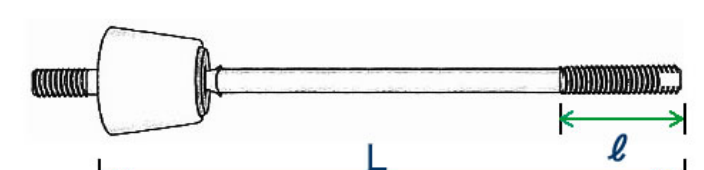
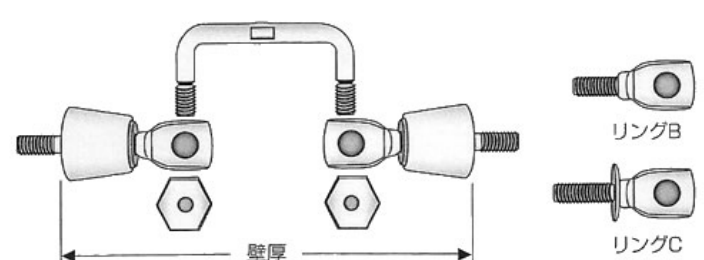


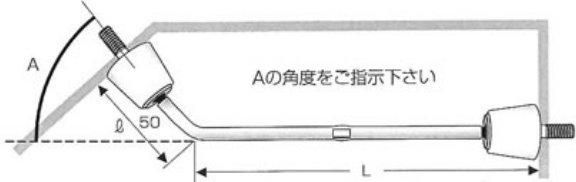
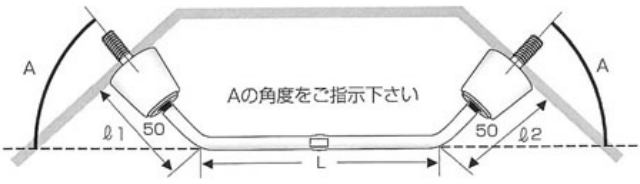
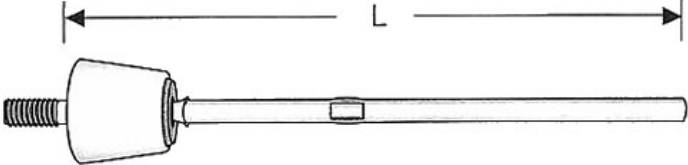
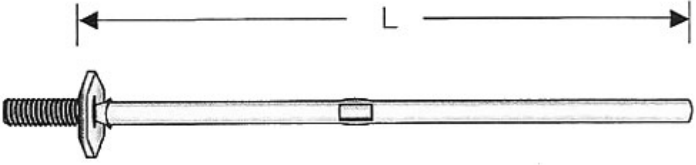
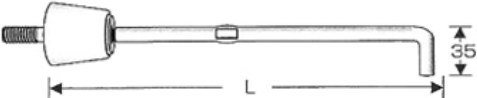
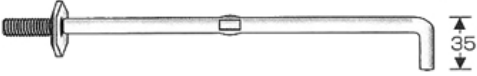
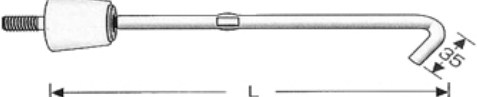


セパレーター



株式会社 広 宣

セパレーター			
品 名	形 式	規 格	用 途
セパレーター B型		W5/16 W3/8	両面打放し用
セパレーター BC型		W5/16 W3/8	片面打放し用 片面仕上げ用
セパレーター C型		W5/16 W3/8	両面仕上げ用
セパレーター D型 E型		W5/16 W3/8	土木用
セパレーター 矢板 B型		W5/16 W3/8	調節ねじ用
セパレーター 矢板 C型		W5/16 W3/8	調節ねじ用
セパレーター 背切り		W5/16 W3/8	
セパレーター コの字 B型 BC型 C型		W5/16 W3/8	梁用

セパレーター 片への字		W5/16 W3/8	コーナー用
セパレーター 両への字		W5/16 W3/8	コーナー用
セパレーター スタット B型		W5/16 W3/8	溶接用 打放し用
セパレーター スタット C型		W5/16 W3/8	溶接用 仕上げ用
セパレーター アンカー B型 C型	B型  C型 	W5/16 W3/8	片面打放し用
セパレーター フック B型 C型	B型  C型 	W5/16 W3/8	片面打放し用

※L・A・ ϕ の寸法をご指定下さい。

図 1	
種 類	曲げ角度A
1 分勾配	約 5°
2 分勾配	約 11°
3 分勾配	約 17°
4 分勾配	約 22°
5 分勾配	約 27°
6 分勾配	約 30°
7 分勾配	約 35°
8 分勾配	約 39°
9 分勾配	約 42°
10 分勾配	約 45°

側圧荷重に対するセパの許容ピッチ計算

打込み速さ (m/h)		10以下の場合		10を超え20以下の場合		20を超える場合
部 位 / H(m)		1.5以下	1.5を超え4.0以下	2.0以下	2.0を超え4.0以下	4.0以下
壁	柱	WoH	$1.5W_o+0.6W_o\times(H-1.5)$	WoH	$2.0W_o+0.8W_o\times(H-2.0)$	WoH
	長さ3m 以下の場合		$1.5W_o+0.2W_o\times(H-1.5)$		$2.0W_o+0.4W_o\times(H-2.0)$	
	長さ3mを 超える場合		$1.5W_o$		$2.0W_o$	

コンクリートの側圧はコンクリートの打込み高さ、単位、容積、重量、温度、部位並びに配筋の状態により異なるが一般的に荷重はJASS5「型枠設計用コンクリート側圧」の表より求める。

1) 最大側圧を求めるための必要項目

- 壁型枠寸法寸法：W（厚さ） L（長さ）
- コンクリート打込み早さ：通常10～50m/n
- 単位容積重量 W_o :2.3t/m³

例 題

- W:15cm H:2.9m L:5.2m
- コンクリート打込み早さ：15m/h
- 単位容積重量 W_o ：2.3t/m³

以上で型枠に作用するコンクリートの最大側圧Pを求める要素の値が決定すれば表より計算式を求める。

例題では 打込み速さ 15m/h
H 2.9m
部位 壁長さ3m超える

なので最大側圧を求める式は $2.0W_o$

よって最大側圧は $P=2.0W_o=2.3t/m^3 \times 4.6t/m^3$ と求まる

例 題 2) 例題によるセパ許容ピッチの算定

最大側圧とセパ許容引張荷重の値よりセパの負担許容ピッチを求める

最大側圧 $P=4.6T/m^3$ W5/16セパ許容引張荷重1.4t

a.型枠1m²当りの使用本数=最大側圧(4.6t/m³)÷セパ許容引張荷重(1.4t)=3.3本/m²

b.セパ1本当りの負担面積=1÷1m²当りの使用本数(3.3本/m²)=0.30m²/本

c.セパ許容ピッチ $\sqrt{0.3}=550mm \times 550mm$

以上の結果、一般的な型枠（例題）の場合のセパ許容はピッチは550×550で良いが特殊な材料や複雑な形状の型枠、仕上げ精度が特に要求されるような建物の場合特に最大側圧を計算により、安全性を確かめセパ許容ピッチを計画しなければならない。

■コンクリート、鉄筋コンクリートの重量

コンクリートの種類		コンクリートの重量 (t/m ³)	鉄筋コンクリートの重量 (t/m ³)
普通コンクリート		2.3	2.4
1種軽量 コンクリート	$F_c \geq 200$	1.9	2.0
	$F_c < 200$	1.85	1.95
2種軽量 コンクリート	$F_c \geq 200$	1.6	1.7
	$F_c < 200$	1.55	1.65
3種軽量コンクリート		1.9	2.0
4種軽量コンクリート		1.7	1.8

■コンクリートポンプ工法によるコンクリートの吐出力

機 種	メーカー 大吐出量 Qmax(m ³ /h)	1時間当りの 平均吐出量 Qm(m ³ /h)	1日(9時間作業で 昼休み1時間含む) の 実際の吐出量(m ³)
ピストン型A	25	10～17	80～136
	30	12～21	96～168
	40	18～30	144～240
	65	24～42	192～336
ピストン型B	45	12～30	96～240
	55	18～35	144～280
ピストン型C	24	8～15	64～120
	40	15～32	120～256
	60	24～38	192～304